

春のながぐつの土ようび 平岡公園 4月11日 2009

春が待ち遠しい元気な子どもたちや大人が大勢集まりました。何と総勢 174 人！！3つのグループに分かれて出発。まだ残雪がある森の中を歩いて春を探しました。木道脇の湿地ではエゾアカガエルの産卵が始まり、卵塊がたくさん見られました。木々の新芽がふくらみ、ミズバショウも顔を出しています。野鳥のさえずりを聞きながら、春をたくさん見つけました。今年も酪農大や北大の学生さん方に、ボランティアでご協力いただいています。



新しいクマゲラの採餌痕



ミズバショウ



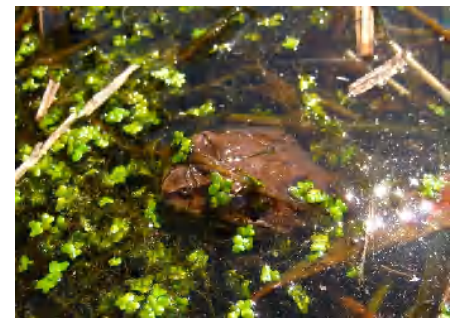
ナニワズ



冬眠から覚めたシマヘビ



産卵準備 OK



こちらでも、エゾアカガエルの親子



エゾアカガエルの卵 (約 20 卵塊)  
年 1 回の産卵期に 1 匹のメスが 1 つの卵塊を産卵します。



プルプル卵をさわってみた。